

ガバナー月信

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER 2006→2007

NO.2



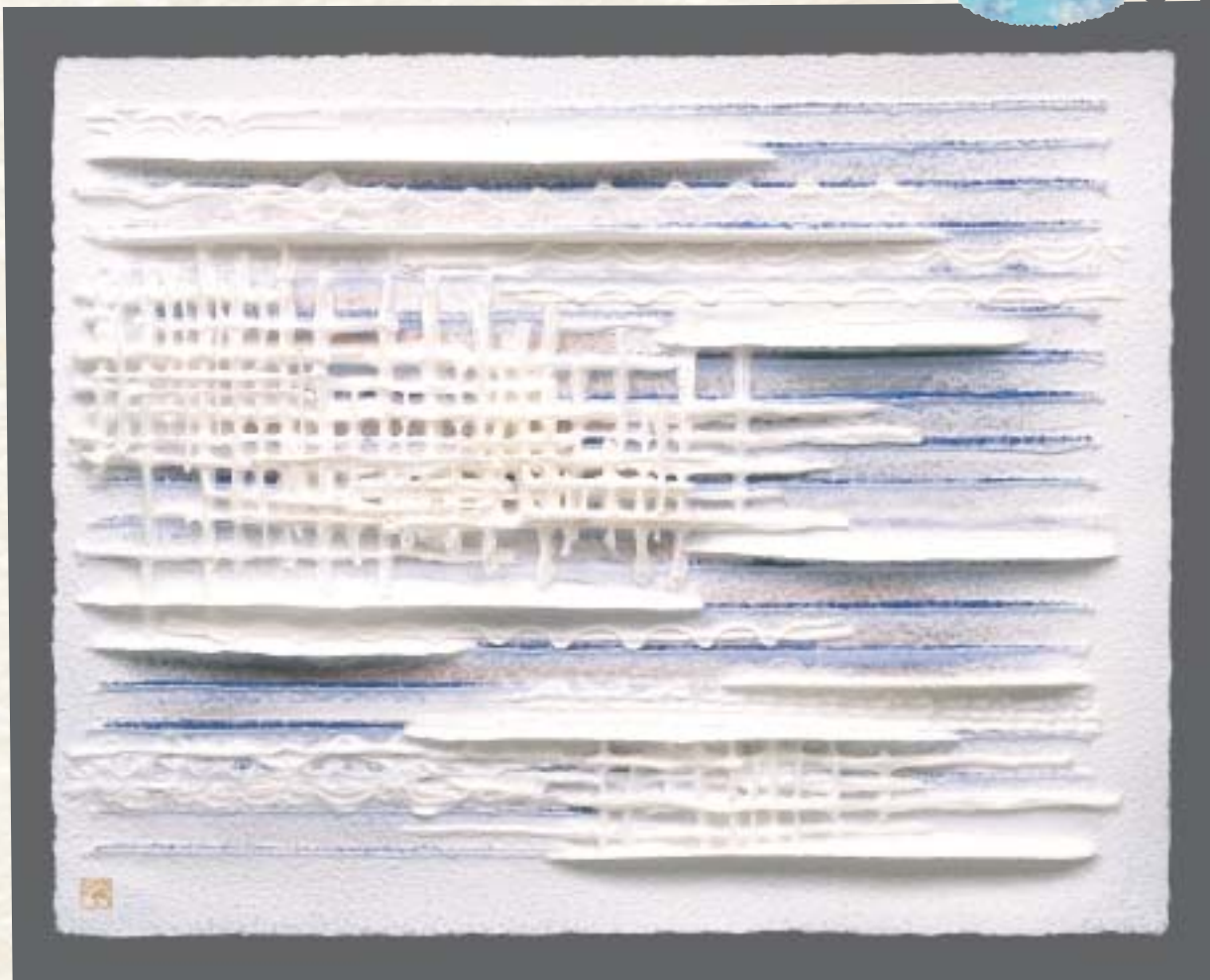
ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760

2006年
8月1日発行

8月は、会員増強および拡大月間です。

ガバナーメッセージ	2	ガバナーからの報告	11
会員増強月間によせて	4	2008-2009年度ガバナーノミニー	13
拡大月間によせて	5	候補の推薦について	13
表 敬 訪 問	7	文 庫 通 信	13
@2760だより	8	米山記念奨学会ニュース・	14
ガバナーからのお知らせ	9	友インターネット速報	14
マルメノコペンハーゲン世界大会報告	10	ガバナー補佐訪問日程表	15

8月



国際ロータリー
第2760地区
ガバナー 斎藤 直美

〒470-0373
豊田市四郷町東畑125 さなげメディカルビル内
TEL.0565-44-2760 FAX.0565-44-2761
E-mail governor06-07@rotary2760.org
Governor's HP <http://2760.jp>

「 刻 」

Governor Message

ガバナー メッセージ



ガバナー 斎藤直美

クラブ会長各位
クラブ幹事各位

梅雨の雨の降り方はスコール並みに変化して、老いの身には辛い猛暑となりました。

各クラブ会長・幹事の皆様は、順調に新年度のスタートを切られたものとお慶び申し上げます。

さて私の同期のガバナーに2830地区（青森）の鐘ヶ江義光さんが居られます。ロータリーにかけの思いと行動力は、とても私の及ばぬところであります。

「出会いと参加」を旗印に掲げて、出席率向上を目指して精力的な活動計画を立てておられる。

“2760地区の出席が良いのは何故？”“何か方策でもあるの？”と問われ、挙句の果てに“その辺りのことを話してくれ”と言われ2830地区の地区協議会で70分の講演をすることになった。確かに2760地区の出席率は95%前後50年間もの長さに亘って維持している。これを改めて考えてみると日本ロータリーの七不思議になるかもしれない。律儀でいかにも保守的な愛知県人の気質なのかもしれない。

この出席率がじりじりと低下して90%を切り、限りなく80%へ近づく地区ガバナーやクラブ会長にとっては、自分だけの責任ではないとは申せ、地区・クラブ運営の評価表を突きつけられている様で辛いと思う。

試みに日本のロータリークラブ（地区）の出席率の推移の記録を紐といてみよう、と、「友」からそのデータを引用させてもらった。1956年第60地区（東京以北の北日本）11月出席率の平均は92.2%であり、青森（50名-94.6%）弘前（35名-91.4%）、東京（260名-81%）となっている。

同年第62地区（北日本を除く地区）11月出席率は平均91.27%、岡崎（34名-100%）、名古屋西（51名-98.43%）、豊橋（49名-96.66%）と記録されている。2760地区は50年前より高出席率であり、これを維持しているから“すごい!!”の一言に尽きる。

メンバー数と出席率とを比較すると東京ロータリークラブは毎例会平均50人近くが欠席している事になる。それに比して地方都市の出席率の高さが目に付く。

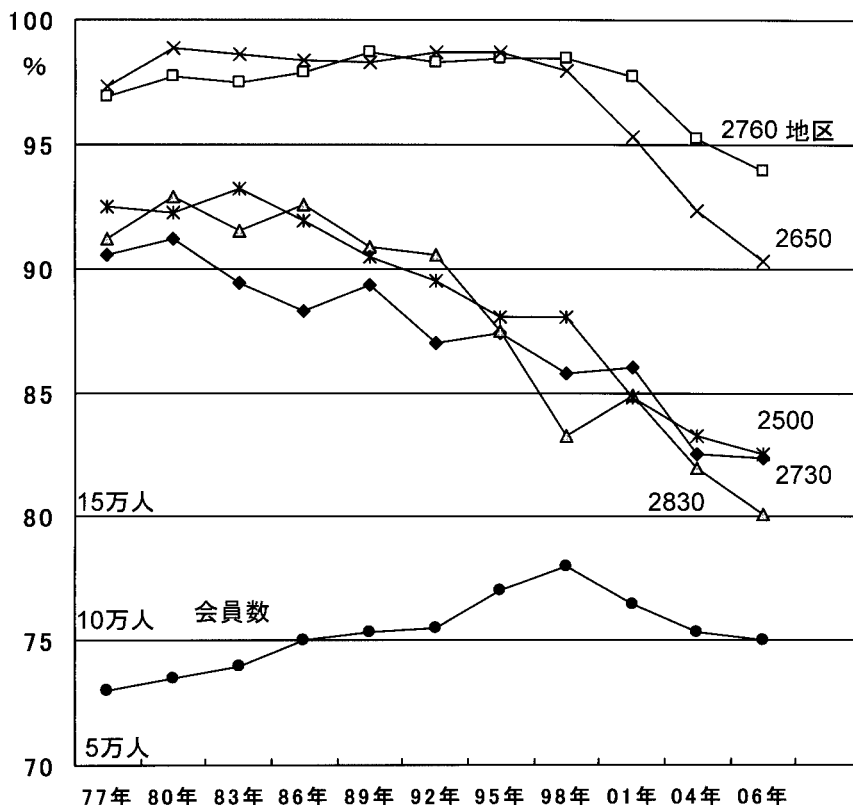
ここでは述べないが、北海道内の都市のロータリークラブの出席率の高さは他を圧倒するものが記録されている。

ロータリー運動は地方の街づくり、人づくりという要素を内包しながら1960年-70年-80年と経過するにつれ拡大と増強を繰り返し、組織が肥大化していくのだが、地方都市であるが故の壁に立ちふさがれてしまったのだろうか、「続・農村小都市クラブの問題点」（鹿児島西：鯨島志芽太「友」1973年3月）、「東北ロータリーの問題点」（三沢：黒田政文「友」1973年3月）などすぐれた分析論文が生まれ、ロータリー運動の発展に苦悩される姿に共感を呼ぶ。

出席率はクラブ数が多くなるにつれて、クラブ別から地区別にまとめられるようになり、今や死語となった「出席競争」（日本は参加しなかった）が地区ガバナーに無言の圧力となったと想像される。それは日本全地区が出席率95%前後という驚異的な数字を約10年近くの期間維持していたのを見ても解る。

しかし1987年の10万人会員突破を境にゆっくり下降し始め、1996年6月の129,909人のメンバー数をピークに出席率90%割れの地区が続出し始めた。メンバーは減少してもクラブ数は増加するという奇妙な現象（表①参照）が目につくようになり各地区のガバナーが必死になって支持基盤を保持しようとした努力が見られて頭が下がる。

表① 地区別出席率の推移



ところで何故我が2760地区は高出席率が維持されているのだろうか？

地区としてのシステマティックな教育プログラムがあるわけではないのに。今年の4月に当地区パストガバナー・元地区幹事の皆様アンケートを出してその理由をお尋ねした。皆様が等しく述べられたことは「出席の意義を十分理解し伝統となり、今日までその精神が受け継がれている。それは新人教育でなされるものだ」とありました。先輩たちがやかましく「出席」を説いた業績とも考えられます。

しかし、そればかりではないでしょう。例えば企業環境、天候、地理的条件、更には…皆様各々お考え下さい。

出席率第1位の地区ガバナーとしてロータリアンとしてこれ程誇りに思うものは無い。高橋直前ガバナーの「ロータリーは楽しければよい」ものであり、だから例会へ足が、顔が向くのだと思う。“我がクラブ”がそこにあるわけだが、その我がクラブから頂戴した物(?)は、縁あって外なる奉仕活動へ昇華しているのだろうか？

出席率の高さと奉仕活動のエネルギーとは正比例するのがロータリー活動と考えるから、表現を変えて「出会いと参加」をテーマにして我が友、鐘ヶ江ガバナーが努力しているのだと思う。出席率1位の2760地区のクラブの優秀さは、世界第1位と考えるがどうだろう。

出席率第1位はこの地区の伝統と会員の努力で培れてきたものだから他地区へ譲るわけにはいかない。

会員増強・拡大月間によせて

「大切なあなたの手… あなたの心…」

RI 第2760地区会員増強委員長 菊岡深智子



8月は、会員増強月間です。

2760地区斎藤直美ガバナーの会員増強5%アップ、「Lead The Way～率先しよう～」が出航しました。前期の高橋治朗ガバナー純増1名を、強く推し進められました。各クラブのご協力を得まして、純増1名の目標は達成されました。2006年4月のまとめによりますと、2005年7月の会員数は5,202名（女性122名）、2006年4月は5,295名と純増93名となっております。

では、何故この様に毎年毎年会員増強を協調され、我々各会員にテーマ提示をされるのでしょうか…会員の皆さん良く考えてみましょう!!全世界の現会員数は120万人ですが、ここ数年、毎年10%ずつ減少しています。

日本全国の会員数は102,513名（2005年11月 RI 公式発表）。過去5年間で3,000人～3,500人減ってきていると言われています。その危惧は現在日本の人口が減ってきていることにおいてもいえます。一人の女性の出生率が1.57に落ち込んでいます。国は高齢化し、社会経済の鈍化や労働力不足、年金の破綻等々…若々しいエネルギーの減退が国の繁栄に及ぼす影響に、危惧の念を抱かざるを得ません。数は力なりとも言われています。あらゆる分野のエネルギー源となっています。ロータリー活動も、会員数の減少により奉仕活動は大きな影響を受けます。世界中が奉仕の場を持っている団体です。100年の歴史あるロータリークラブの諸先輩の功績は、輝きつづけてはなりません。ロータリー精神を全員で深く考え、行動を起こさなくてはなりません。奉仕活動は、一人でも多い方が世界を平等に、平和に導く根源となって行きます。「手に手つないで」のロータリーソングの通りです。一人一人の温かい心と手が大切なのです。このことは、各クラブでの会員増強が不可欠であると言う事です。

あなたの手で、あなたの知人、友人を招いて下さい。幅広い有能な分野の方々を呼び込みましょう!!そして、新入会員発掘と同時に、現会員の退会防止が会員増強の重要なカギとなっています。希望と信念に燃える新一年生は、皆さんの仲間になれる喜びと同時に、「私で大丈夫、ついて行けるかな…」と云う不安も抱きます。すでに会員である先輩諸氏は、立派なリーダーです。常に優しく、きめ細かく、ロータリーの楽しさを指導しましょう。居心地のよい席があれば、無欠席で参加するような優秀な会員が育ってきます。どうぞ、会員増強は委員長一人に委ねるのではなく、会員全員で応援しましょう!!斎藤直美ガバナーのガバナー賞にも入っている、会員増強5%アップにご協力の程お願い申し上げます。そして、世界の奉仕の理想に全員で参加できる基盤になって参りましょう。

会員増強・拡大月間によせて

拡大月間によせて

地区拡大委員長 杉浦 壽康



はじめに

8月は増強・拡大月間です。今日、日本では長く続く不況を背景に会員数が減少しています。この会員減少は世界的にも見られます。シカゴでロータリーが生まれた100年前のアメリカの社会経済状況は、今よりもっと劣悪な状況であり、会員数減少の原因を不況に求めるのは当たらないと思います。

会員数を増やすには各クラブの会員数を増やすこと（増強）とクラブ数を増やすこと（拡大）の二つの方法があります。クラブの会員数が減少している今日、各クラブは増強に必死であり、拡大と増強は相対するものと考えられがちですが、見方を変えると拡大と増強は会員数を増やすための両輪です。とは言え増強に必死なクラブが拡大に向け行動することに消極的な姿勢にならざるを得ないことは理解できます。

拡大月間に当たり世界と日本そして RI2760地区の拡大の歴史を今一度見なおし、「拡大」の持つ意義を考えてみたいと思います。

1 世界・日本・当地区における拡大の足跡

表1を見て判るように、世界の会員数は1989～1990年度から1996～1997年度まで増加していますが、その後減少し1999～2000年度に最低となりました。2000～2001年度から一旦増加しましたが、2003～2004年度は再びやや減少しました。日本の会員数は1996～1997年度をピークにその後減少の一途を辿っています。当地区においては1997～1998年度にピークになり、その後減少しています。会員数の減少に対しクラブ数は最近の15年間に、世界も日本も当地区においても多少の増減はありますが、確実に増加しています。

表1 各年度末（6月30日時点）のクラブ数と会員数の推移

年度	世 界		日 本		2760地区	
	クラブ数	会員数	クラブ数	会員数	クラブ数	会員数
1990	25,160	1,121,230	1,917	114,263	64	5,311
1991	25,582	1,143,296	1,972	118,825	70	5,688
1992	25,928	1,155,810	2,032	122,515	72	5,833
1993	26,525	1,173,558	2,086	124,981	72	5,975
1994	27,026	1,190,102	2,126	126,264	72	6,026
1995	27,446	1,170,936	2,173	129,184	73	6,087
1996	28,134	1,206,112	2,208	131,477	75	6,247
1997	28,736	1,213,748	2,238	131,731	76	6,366
1998	29,113	1,201,595	2,260	129,491	76	6,406
1999	29,728	1,193,461	2,276	126,026	76	6,245
2000	29,629	1,180,550	2,291	122,678	78	6,221
2001	30,149	1,188,492	2,303	119,076	78	5,990
2002	31,256	1,243,431	2,314	115,315	79	5,773
2003	31,561	1,227,545	2,322	110,347	80	5,505
2004	31,963	1,219,532	2,327	106,201	80	5,353
2005	32,507	1,224,297	2,334	100,713	81	5,214

2 人口から見た大都市(旧六大都市)の会員数

ロータリアンとしての年齢を30歳以上と40歳以上に分けて、大都市について、現時点でのロータリー会員数を人口比で比較して見ると、当2760地区は40歳以上では全国と同じですが、30歳以上は全国よりやや低いことが判ります。

当地区のロータリアンの人口比は、大都市の中で高い方ですが、30歳から40歳未満の若いロータリアンを増やす努力をすべきではないかと思えます。

表2 各地区（旧六大都市）の会員数と人口比

(2006-2007年度地協議会資料)

地区	行政範囲	人口（単位：千）			クラブ数	会員数(人)	人口比(%)	
		総人口	30歳以上	40歳以上			30歳以上	40歳以上
2580	東京・沖縄	13,737	9,229	6,923	163	8,788	0.095	0.126
2750	東京南・北マリアナ・グアム・ミクロネシア・パラオ							
2660	大阪府北部	9,864	6,464	4,925	162	7,059	0.109	0.143
2640	大阪府南部・和歌山							
2590 2780	神奈川	8,732	5,854	4,366	133	5,289	0.090	0.121
2680	兵庫	5,587	3,768	2,948	74	3,389	0.089	0.114
2700 2740	福岡・佐賀・長崎	7,423	4,920	3,951	117	6,030	0.122	0.152
2760	愛知	7,129	4,721	3,374	80	5,369	0.113	0.159
(34)	全国	127,687	86,722	68,242	2,337	108,840	0.125	0.159

(注) (1) 人口：平成16年10月1日現在（平成17年5月6日作成）

(2) 会員数・クラブ数：平成17年1月末現在

3 クラブの適切な大きさは？

クラブの円滑な運営を行うには、一つのクラブの適切な大きさ（会員数）を考える必要があると思います。ロータリー活動を成功させるには、会員間の意思疎通が図られていることが重要な条件の一つであると思います。意思疎通が可能な最適な人数はどのくらいでしょうか。一つの例として軍隊（自衛隊）を見てみると、最小の集団は「班」で10名以内のようです。現在、ロータリークラブとして認められるのは一クラブ少なくとも20名が必要です。「班」の上は「小隊」で約40名で編成されているようです。会員数が少ないと会員一人の負担が大きくなり、会員数が多過ぎると意思疎通が不充分となり、いずれも実効ある活動が難しくなります。あくまで個人的な感覚ではありますが、最も効果的な意思疎通と活動ができるのは、一クラブ80名から100名が適切な人数ではないかと思えます。会員数が現在100名を超えているクラブは増強を考えず、親クラブとして、新しい奉仕の集団（子クラブ）を誕生させる努力、即ち拡大のための努力を切にお願いいたします。

4 「拡大」の持つ意義と「拡大」の方法

PG 内藤卯三郎氏は「拡大は最大の増強である」と言われたと聞いています。拡大により奉仕の仲間を増やすことは、ロータリーの四大奉仕の輪を広げ、ロータリーが求めている世界平和のためにも意義あるものと思います。

ロータリアンではないが、ロータリー精神の真髄である「超我の奉仕」を日々実践しておられる方々が周りに多いと思います。こうした方々に新しいクラブの会員になってもらい、仲間を迎えることはロータリー活動が一層活性化すると思います。更に、ロータリアン一人一人があらゆる機会を通じ、ロータリーの精神と活動を地域に発信することがロータリーについての理解を深め、かつ拡大・増強に繋がると思います。

おわりに

高橋年度では当地区は純増約90名が期待できるようです。このことは喜ばしいことです。また、昨年度行った拡大に関するアンケート調査では、拡大が必要と答えられたクラブは20クラブ（地区の四分の一）ありました。

すべての生物は種族保存と繁栄のための努力をします。人類（人間）も同様であり、ロータリーも然り。子クラブを育てる（拡大する）ことは重要なロータリー活動の一つであり、義務であると思います。どうぞ拡大にご理解とご協力をお願いいたします。

国際ロータリー第2760地区 斎藤 直美ガバナー

神田愛知県知事、中日新聞社、
中部経済新聞社を

表 敬 訪 問

—— 責務の重さ痛感大役に全力投球 ——

「原点回帰」を強調

●地区大会への出席要請●

去る7月3日、藤井伸三地区幹事らとともに愛知県知事公舎に神田知事を訪れた斎藤ガバナーは「第2760地区の新年度のガバナーに就任した斎藤です。当地区の歴代のガバナーは素晴らしい人ばかりで、その責務の重さに身の引き締まる思いですが、全力で大役に取り組みますので、よろしくお願いします」とガバナー就任のあいさつを述べた。

これに対して神田知事は「愛知県のロータリーは元気で心強く、特に愛・地球博ではロータリー館が大変お世話になったが、常に千客万来で海外からの来客も多く、ロータリーの力を見せられました。地区のロータリアンには経済界の中心的人が多く、今後ともよろしくお願いします。元気のよい愛知県のガバナーは大変な激務と聞きますが、体に気をつけて頑張ってください」などと、斎藤ガバナーにエールを送っていた。

また、斎藤ガバナーは神田知事に11月18、19日の両日にウェスティンナゴヤキャッスルで開催される地区大会への出席を要請。神田知事は「喜んで出席させていただきます」と地区大会への出席を約束した。

**活動の積極報道に期待**

●斎藤ガバナー 加藤中部経済新聞社社長と懇談●

斎藤ガバナーらはこの後、中部経済新聞社を訪れて、加藤社長らと懇談した。斎藤ガバナーは就任あいさつの後で、加藤社長の「大勢のロータリアンとロータリークラブを束ねていくのは大変ですね」との話に、「束ねていくなどという気持ちではなく、大学時代のサークル活動と同じ気持ちで楽しんで取り組んでいきたい。幸いロータリアンにはこうした活動をした人が多く、円滑にやっていけると思う」などと話していた。

また、斎藤ガバナーは「中部経済新聞のロータリーページでは、ロータリー活動を積極的に掲載していただき感謝しています。ロータリアンはPRが下手で、自分たちの活動がうまく伝わらないことに悔しさといらだちを感じてる人も多い。それだけに、今後ともよろしくお願いします」と当欄でのロータリー活動の積極的な報道を要請していた。

これに対して加藤社長は「各ロータリークラブでは、取材に対して好意的に対応していただき感謝しています。今後も積極的に取材、報道していくつもりですので、ロータリーとしても大いに活用してください」などと話していた。



中部経済新聞 7月4日号より

@2760だより

豊田地区5つのロータリークラブが、日本人の素晴らしい心を未来の子供たちに伝えようと、「孫への手紙」と言う形で作品を募集致し、ロータリークラブのパブリシティをされた事業を紹介致します。

この事業は「ロータリークラブの活動」を豊田市民のみなさまに知って頂くために、豊田地区5つのロータリークラブの共同事業を1年間検討し開催されました。

「孫への手紙」募集のチラシを作成し、中日新聞、地方紙2紙、そして自治区の回覧版にて各家庭に募集を呼びかけました。その結果、豊田市はもとより市外からの数多くの応募を頂きました。

平成18年5月27日にアイプラザ豊田において表彰式が行われ、優秀作品に豊田市長賞などが手渡された。

ここで大賞作品をご紹介します。



大賞作品 『暖かい太陽』 花井英雄さん

あの日はあなたが小学三年生の秋だったね。

初めて飼った子犬の太郎を、キャンプや海に連れて行き、大喜びですごした夏の終わり、生後わずか五ヶ月の太郎がジステンパーを発病しました。動けずぐったりと横になった小さなおなかを、あなたはその小さな手でさすり名前を呼び励ましていましたね。一晩中台所の床で寝ないで看病しているあなたを見て、私はもう寝なさいとは言えませんでした。小さな命が消えかきどうしようもない状態でも、必死に治ることを信じ、添い寝をしていたあなたの姿は子供とは思えませんでした。太郎の死という悲しい出来事から命の大切さを学んだあなたは、その後努力して言語聴覚療法士として脳梗塞で倒れた人たちの命を救う仕事を選びましたね。今も頑張っているあなたは私の誇りです。

とかく命が軽んぜられる時代です。絶望の淵にいる患者さんの暖かい太陽であり続けて下さい。太郎も虹の下で喜んでますよ。

上記の表彰式の様子を新聞に全面掲載することと同時に、新聞紙面において、ロータリークラブの主な活動、各クラブの豊田地区での活動を豊田市民のみなさまに広く紹介させて頂きました。

留学生支援活動（ロータリー米山記念奨学会）・ポリオ撲滅活動（ポリオ・プラス プログラム）など



豊田ロータリークラブ ●インターアクトクラブ活動の支援



豊田西ロータリークラブ

- 19年にも及ぶ豊田市図書館への寄付
- スリランカへの医療器具の寄付



豊田三好ロータリークラブ

- 南インドの職業自立のための施設を建設



豊田中ロータリークラブ

- 豊田市駅前からスタジアムまでの清掃活動 530活動



豊田東ロータリークラブ

- 軟式少年野球大会の主催
- 豊田市交換留学生との交流事業

「孫への手紙」の文集をご覧になりたい方は豊田ロータリークラブまでお問い合わせ下さい。

TEL 0565-32-5555 ガバナーホームページにも掲載しております。

ガバナーからの お知らせ

会議開催のお知らせ

2006－2007年度 第2760地区 会員増強委員長会議

- 日 時 平成18年 8 月 2 日 11：00～16：00
- 場 所 名鉄グランドホテル 11階 粕の間
- 対象者 各クラブ会員増強委員長

2006－2007年度 R I 第2760地区 ロータリー財団セミナー開催

- 日 時 平成18年 8 月 4 日 12：30～17：00
- 場 所 名鉄グランドホテル
- 対象者 各クラブ会長、会長エレクトおよびロータリー財団委員長

2005－2006年度 派遣留学生帰国報告会

- 日 時 平成18年 8 月19日 14：00～17：00
- 場 所 ウイル愛知（名古屋市東区上堅杉町1番地）
- 問合せ 青少年交換委員会 委員長 黒田勝基

地区大会の予告

『Lead the way』『原点回帰』

日 時

第1日目／2006年11月18日(土)

第2日目／2006年11月19日(日)

場 所

ウェスティンナゴヤキャッスル

●ホストRC・名古屋中ロータリークラブ

地区大会事務局

〒460-0003 名古屋市中区錦1-19-30

名古屋観光ホテル内 名古屋中RC

TEL 052-219-4020

FAX 052-219-4023

E-mail : rc-chikutaikai 06@t2-net.jp

2006年 マルメ/コペンハーゲン 世界大会報告



左より2730地区 富永国俊、2580地区 小沢秀瑛、
2530地区 寺島岩男、ガバナーの皆様

6月10日、成田空港で2530地区寺島ガバナー、2730地区富永ガバナーら総勢20名でマルメ／コペンハーゲンに向けて出国いたしました。世界大会会場では、2760地区石川和昌バスターガバナー、福田浩三バスターガバナー、名古屋東山RC渡辺さん、大須RC藤田さんにお会いすることができました。開会当日は早朝より、ステンハマーRI会長も出席した日本人朝食会が開催されました。



2006年マルメ／コペンハーゲン国際大会は、6月8日からライラ、ローターアクト大会前会議、青少年交換役員大会前会議などがスウェーデン・マルメで、6月11～14日の大会がデンマーク・コペンハーゲンで開催されました。初めての北欧開催、初めての2か国での開催の大会でした。デンマークとスウェーデンの国境に架かる12kmにもわたるオスレン大橋を行き来して開催されました。日本からは1,300名、世界の各地から約14,000名が集まり、ロータリアンとその家族は、国境のない会場で、友人との再会を喜び、新しい出会いに感激しました。友情を深め、ロータリーのさまざまな面を勉強した大会は心に残るものとなった。

6月11日の大会開会式は、会場の中央に円形の舞台が作られ、どの席に座っても正面になるように、舞台の中央はスピーチの間、ゆっくりと回ります。また、その舞台を生かして、開会式ではデンマークが生んだ偉大な作家、アンデルセンの「マッチ売りの少女」の物語を中心に、さまざまなパフォーマンスが繰り広げられました。

カール・ヴィルヘルム・ステンハマーRI会長は、「私たちにはしなければならない役割というものが多いと思います。私たちは、それをフォローしなければならないと思います。技術は日進月歩で進歩しています。私たちのアイデアも時とともに変化しなければならないということが要求されます。果物の木は、育てるのに手間がかかります。実のなる年もありますが、あまりならない年もあります。ロータリーも剪定する時期がきているのではないのでしょうか。剪定を厳しくする場合は、その次の年はあまり実がなりません。しかし、これは将来への投資です。次の次の年には、もっと大きな収穫を期待することができるのです」と述べられました。

閉会式は、北欧出身のA&BAのステージで感動とともにマルメ／コペンハーゲン国際大会は締めくくられました。



ガバナー からの報告

第1回地区諮問委員会

日時：2006年7月8日（土）

AM11:00～

場所：名鉄グランドホテル

出席対象者

森 泰樹(P.D.G.)	内藤 明人(P.D.G.)
奥谷 博俊(P.D.G.)	野村 重彦(P.D.G.)
福田 浩三(P.D.G.)	福田 清成(P.D.G.)
盛田 和昭(P.D.G.)	太田賢太郎(P.D.G.)
加納 泉(P.D.G.)	岡部 快圓(P.D.G.)
神戸 政治(P.D.G.)	豊島 徳三(P.D.G.)
宮地 信尚(P.D.G.)	大島 宏彦(P.D.G.)
蜂谷 弘道(P.D.G.)	高橋 治朗(P.D.G.)
石川 和昌(P.D.G.)	斎藤 直美(D.G.)
松本 宏(P.D.G.)	江崎 柳節(D.G.E.)

(オブザーバー：藤井地区幹事、河村次期地区幹事、
松井勇地区副幹事)

次 第

●斎藤ガバナー挨拶

●協議事項

1. 2006～2007年度 地区大会関連委員会／委員の選任委嘱の件
2. 2006～2007年度 意義ある業績賞選考委員会／委員選任委嘱の件
3. 2006～2007年度 米山奨学会理事・評議員推薦の件
4. 2006～2007年度 米山梅吉記念館・評議員推薦の件
5. その他

・地区協議会決算報告書について

・内藤明人君(2005国際博委員長)に対する感謝の件

・小沢秀雄氏(蒲郡市在住)に対するロータリー財団からの表彰の件

●報告事項

・青少年交換のためのガイドライン作成の件

・ロータリーセンタージャパンの件

・第8回日韓親善会議の件

国際ロータリー第2760地区

第1回 ガバナー補佐会議



日 時 2006年7月14日(金)

時 間 14:00～16:00

場 所 ホテル豊田キャッスル 1F 芙蓉・桐の間

司会：地区副幹事 天野 勝美

式 次 第

1. 開会の辞

…………… 地区幹事 藤井 伸三

2. ガバナー挨拶

…………… ガバナー 斎藤 直美

3. 議 題

- (1) クラブ奉仕委員会へ所属する小委員会はその機能を果たしているだろうか
- (2) クラブメンバーの研修プログラムはどのようなものか
- (3) R C Cの設立
- (4) R財団、R米山奨学会へ協力をお願い
- (5) 11月18日指導者育成セミナーについて
- (6) その他

① ガバナー補佐選考の件

② 地区委員会活動の再検討

4. 閉会の辞

…………… 地区幹事 藤井 伸三



次回開催日 2006年12月1日(金)

第17回インターアクトクラブ協議会開催報告

開催日：2006年7月17日(月) 海の日

開催場所：豊田市民文化会館

ホスト：豊田ロータリークラブ
豊田工業高等専門学校
インターアクトクラブ

テーマ：「創造 ～僕らの未来像～」

登録者：地区内ロータリアン 160名
インターアクトクラブ 309名

開催内容：

09：30～10：00 受付・登録

10：00～10：45 オープニングセレモニー

(豊田工業高等専門学校吹奏楽部による演奏)

(地区インターアクトクラブ紹介スライド)

10：45～11：15 開会式



11：30～13：00 分科会

第1分科会 「ロボコンとロボカップの世界」

第2分科会 「エコランカーの世界」

第3分科会 「からくり人形の世界」

第4分科会 「ここがヘンだよ、日本人」

第5分科会 「燃料電池を作ろう」

第6分科会 「楽しい、折り紙建築」

第7分科会 「コンクリートでマスコットの置物を作ろう」

第8分科会 「突撃、隣の世界情勢」

第9分科会 「みんなで手遊び」

13：00～13：50 昼食

13：50～14：20 海外研修会壮行会

14：20～15：00 全体会

15：00～15：20 閉会式

インターアクトクラブ協議会を終えて

今年度はホストクラブが豊田工業高等専門学校ということもあり、もの作りの大切さ、ロボット技術等、具体的に作る楽しさを感じていただく分科会を行いました。地区内インターアクトクラブのメンバーもロボットに触れた事がよかった等の感想が多く、成功裡に終えることができました。また昼食も立食形式にした事により他のクラブ会員との触れあう時間も取ることができ有意義な協議会が開催できました。

2008－2009年度 ガバナーノミニー候補の推薦について

国際ロータリー第2760地区指名委員会より、各クラブに対し下記のとおり2008－2009年度（片山年度の翌年度）ガバナーノミニー候補者指名案の提出を要請致します。

- ・提案は候補者推薦クラブの例会で採択された決議という形式で提出して下さい。この決議はクラブ幹事によって正式に証明いただかなくてはなりません。
- ・詳細は、R.I.細則第13条第2節をご参照下さい。

●2006－2007年度 地区指名委員会メンバー

委員長	豊島 徳三 (P.D.G)	委員	高橋 治朗 (P.D.G)
副委員長	大島 宏彦 (P.D.G)	委員	太田賢太郎 (P.D.G)
		委員	岡部 快圓 (P.D.G)

——— 記 ———

氏 名 _____
 所属クラブ _____
 生 年 月 日 _____
 ロータリー歴 _____

●送付先／〒470-0373 豊田市四郷町東畑125

さなげメディカルビル内 国際ロータリー第2760地区
 ガバナー 斎藤直美

●締切り／2006年9月1日(金)必着



文 庫 通 信 226号



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

◆ 広 報 に つ い て ◆

◎「行動広報」	D.2650	2005	22 p	[申込先：ロータリー文庫]
◎「超我の奉仕（広報について）」	D.2630	2005	3 p	[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
◎「動き出した広報」	武部 宏	2005	2 p (D.2650月信)	[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
◎「広報と宣伝・広告のちがいは」	大久保 昇	2005	3 p (D.2650月信)	[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
◎「『広報・ITに関するアンケート調査』の集計結果について」	岡本比呂志	2006	2 p (D.2570月信)	[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
◎「広報の立場から」	西村 二郎	1982	1 p	[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
◎「ロータリーに於ける広報とは何か」	前原 勝樹	1985	2 p	[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
◎「ロータリーを『わかる』ために一巻き込み、渦を起こすのが広報」	森 三郎	1995	16 p	[申込先：ロータリー文庫(コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ハイライトよねやま77号★

2006年7月12日発行

◆今月のトピックス

1. 寄付金速報 ～9年ぶりの寄付金増加! ご協力感謝いたします～
2. 理事会・評議員会開催報告
3. 2006年度新制度を検証するフォーラムを開催
4. 全国の学友会長と地区米山奨学委員長が初の合同セミナー
5. 現地採用奨学金、ベトナムで一次面接を実施!

◆『奨学生名簿』廃止のお知らせ

毎年、冊子で配付していた地区別『奨学生名簿』は、本年度より各ガバナー事務所宛にデータで配信することになりました。

奨学生の個人情報保護に留意のうえお取り扱いくださいますようお願いいたします。

財団法人ロータリー米山記念奨学会

事務局長 坂下博康 編集担当 野津・峯・大庭

Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281

問い合わせメール: highlight@rotary-yoneyama.or.jp

米山記念奨学会ホームページ: <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

『友』

インターネット速報

2006年7月11日 No.241

◆世界食糧計画がR Iのポリオ撲滅活動を顕彰

世界で20億人以上の子どもたちをポリオから解放した、世界ポリオ撲滅計画における国際ロータリー(R I)の貢献をたたえ、国連世界食糧計画(WFP)は、R Iに対し「WFP最高人道支援賞」(WFP Award for Exemplary Humanitarian Leadership)を授与しました。

6月18日、デンマーク・コペンハーゲンで開催されたWFP国際会議の中、ジェームス・モリスWFP事務局長からビル・ボイドR I会長に同賞が手渡されました。また、受賞晩餐会には、コフィー・アナン国連事務総長も出席しています。受賞スピーチの中で、ボイド会長は「先例のないほど大きな規模で、政府、組織がポリオ撲滅活動に協力したことによって、世界で99%のポリオから解放されました」と述べ、「ポリオ撲滅活動で発揮した計画性とチームワークは、WFPが取り組んでいる世界的な飢餓追放という目標にも応用できます。一人では限界がありますが、一緒にやれば最善を尽くすことができます。飢餓を追放するために共に歩む一步一步が賞賛に値するものです」と続けました。

◆『友』ホームページ情報

ロータリーの友事務所が発行している出版物の一覧を掲載しました。地区・クラブのロータリー活動に、ロータリーの友の出版物をお役立てください。

<http://www.rotary-no-tomo.jp/jpn/index.html> です。

日本語コンテンツの中段にある「ロータリー友からのお知らせ」にあります。

発行 ロータリーの友事務所

ホームページ: <http://www.rotary-no-tomo.jp>

Eメール: ホームページについては web@rotary-no-tomo.jp

編集については hensyu@rotary-no-tomo.jp

ガバナー補佐訪問日程表

南尾張分区

	クラブ名	ガバナー補佐訪問日
ガバナー補佐 森 島 昭 二	半 田	8月17日(木)
	知 多	8月28日(月)
ガバナー補佐幹事 竹 内 満寿夫 都 築 利 全	常 滑	9月1日(金)
	東 海	9月6日(水)
地 区 副 幹 事 木 下 桂 一	大 府	9月7日(木)
	半 田 南	9月19日(火)
	東 知 多	9月21日(木)

西尾張分区

	クラブ名	ガバナー補佐訪問日
ガバナー補佐 山 内 登	あ ま	8月21日(月)
	一 宮 中 央	9月13日(水)
ガバナー補佐幹事 岩 田 勝 義	一 宮 北	9月15日(金)
	名古屋清須	9月26日(火)
地 区 副 幹 事 河 木 照 雄	尾 張 中 央	9月27日(水)
	津 島	9月29日(金)
	稲 沢	10月4日(水)
	一 宮	10月12日(木)
	尾 西	10月16日(月)

東尾張分区

	クラブ名	ガバナー補佐訪問日
ガバナー補佐 江 崎 柳 節	小 牧	7月19日(水)
	犬 山	7月25日(火)
ガバナー補佐幹事 五 藤 隆 夫 鈴 木 文 勝	愛知長久手	8月1日(火)
	瀬 戸	8月9日(水)
地 区 副 幹 事 松 井 勇	江 南	8月17日(木)
	岩 倉	8月22日(火)
	豊 山 - 城 北	9月5日(火)
	春 日 井	9月8日(金)
	名古屋空港	9月11日(月)
	瀬 戸 北	9月12日(火)
	尾 張 旭	9月22日(金)

西名古屋分区

	クラブ名	ガバナー補佐訪問日
ガバナー補佐 片 山 主 水	名 古 屋 中	7月10日(月)
	名 古 屋 西	8月3日(木)
ガバナー補佐幹事 佐久間 貞 介	名 古 屋	8月8日(火)
	名古屋名駅	8月9日(水)
地 区 副 幹 事 酒 井 法 丈	名 古 屋 栄	8月28日(月)
	名古屋大須	8月31日(木)
	名古屋西南	9月7日(木)
	名古屋みなと	9月8日(金)
	名古屋名南	10月3日(火)
	名古屋瑞穂	10月5日(木)
	名 古 屋 南	10月18日(水)
	名古屋東南	10月25日(水)

東名古屋分区

	クラブ名	ガバナー補佐訪問日
ガバナー補佐 千 田 毅	名古屋守山	7月19日(水)
	名古屋名北	7月26日(水)
ガバナー補佐幹事 柳 澤 幸 輝 本 多 満	名 古 屋 錦	8月8日(火)
	名 古 屋 葵	8月17日(木)
地 区 副 幹 事 天 野 勝 美	名 古 屋 北	8月18日(金)
	名古屋名東	9月12日(火)
	名古屋千種	9月19日(火)
	名古屋昭和	9月25日(月)
	名 古 屋 東	10月2日(月)
	名古屋和合	10月4日(水)
	名古屋東山	10月5日(木)

東三河分区

	クラブ名	ガバナー補佐訪問日
ガバナー補佐 尾 原 脩	豊 橋	8月3日(木)
	奥 三 河	8月9日(水)
ガバナー補佐幹事 松 井 準 治 河 辺 虎 太 郎	新 城	8月11日(金)
	豊 川	8月23日(水)
地 区 副 幹 事 梅 村 正 明	豊橋ゴールドデン	8月25日(金)
	豊 橋 東	8月30日(水)
	蒲 郡	9月8日(金)
	豊 川 宝 飯	9月12日(火)
	豊 橋 北	9月19日(火)
	豊 橋 南	9月25日(月)
	渥 美	10月11日(水)
	田 原	10月13日(金)
	田原パシフィック	10月17日(火)

西三河中分区

	クラブ名	ガバナー補佐訪問日
ガバナー補佐 加 藤 鈴 幸	岡 崎	8月9日(水)
	岡 崎 東	8月10日(木)
ガバナー補佐幹事 谷 山 芳 和 野 田 清 衛	豊 田 中	9月8日(金)
	豊 田 東	9月13日(水)
地 区 副 幹 事 秋 田 敬 治	岡 崎 南	9月19日(火)
	岡 崎 城 南	9月26日(火)
	豊 田 西	10月23日(月)
	豊 田 三 好	10月30日(月)
	豊 田	11月2日(木)

西三河分区

	クラブ名	ガバナー補佐訪問日
ガバナー補佐 羽 田 育 哉	安 城	8月18日(金)
	三 河 安 城	8月23日(水)
ガバナー補佐幹事 太 田 宗 一 郎	一 色	8月31日(木)
	碧 南	9月6日(水)
地 区 副 幹 事 鈴 木 元 弘	西尾KIRARA	9月29日(金)
	西 尾	10月3日(火)
	高 浜	10月10日(火)
	知 立	10月11日(水)
	刈 谷	10月23日(月)



**ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760**

今月の表紙



「 刻 」

小原和紙工芸
豊田ロータリークラブ会員
日展会員 山内昇三 作

刻一刻と一瞬の時間が過ぎ、
人生に刻み込まれて行く。その
刹那とも無限とも感じる時の流
れにひととき想いを馳せてみた。